

CoPURA vol.3

Co-creation Platform for networking URA

2017
10.20 Fri.

研究成果の広報 ～伝え方のテクニックと戦略について考える～

URA 共創プラットフォーム 第3回ミーティング

日時：2017年10月20日（金） 14:30～17:15

会場：電気通信大学 UEC アライアンスセンター1階 100周年記念ホール

対象：大学・企業などの研究機関において、研究経営や研究支援等に携わる方

※参加ご希望の方はCoPURAホームページ（<http://www.ura.uec.ac.jp/copura/>）からお申込みください。

研究広報 # 科学 # コミュニケーション # 伝える技術

講演①&ワークショップ

『恋愛下手？ それじゃ科学は伝わらない ～何が人をその気にさせるのか～』

※ 恋愛講座ではありません。科学を伝える。研究成果を伝える話です。

専門家以外の人に科学を伝えるとき、重要なのは「論理的」であることでしょうか。本当はそれ以上に大切なのに、ほとんどの科学者が無視していることがあります。反対に、テレビ番組をつい最後まで見てしまう理由は为什么呢。

ぜひ、当日まで考えてから出席してください。キーワードは「逆算」です。考えたこともなかった、伝える技術。テレビが使うあの手とこの手、その一部をお伝えします。この2時間で、あなたの持つ「コミュニケーション」の意味がガラリと変わるのではないのでしょうか。本にも教科書にもない『伝える技術』。体感していただきましょう。

小林 隆司 氏（国立研究開発法人 物質・材料研究機構 経営企画部門 広報室室長）

元NHK科学番組ディレクター。「ためしてガッテン」「クローズアップ現代」「サイエンスZERO」などの科学番組中心に18年間番組を制作。放送文化基金賞、科学放送高柳記念賞など。

2015年よりNIMS経営企画部門広報室室長。2017年度文部科学大臣表彰。2017年度文部科学大臣表彰。

講演②

『産業界と社会にインパクトを与える研究成果の広報（仮）』

千野 俊猛 氏（電気通信大学特任教授、元 日刊工業新聞社社長）

つないで新たな価値を創造する“URA共創プラットフォーム”

大学や研究機関における研究推進体制の整備、研究力強化を目的として、リサーチ・アドミニストレーター（URA）を始めとした研究マネジメント人材の配置が進んでいます。URAの担当業務は所属機関の状況やニーズにより多様で広範囲に渡っています。

URAの普及定着とともに、URA機能の質の向上を図るためには、URA同士がネットワークを組み、ノウハウを共有することが重要であり、URA同士のネットワーク活動を活性化させ、新たな価値創造につなげる“場”として「URA共創プラットフォーム」（通称“CoPURA”，こぶら）を設立しました。

※ CoPURA = Co-creation Platform for networking URA

CoPURA事務局（電気通信大学研究戦略統括室，copura@ura.uec.ac.jp）



CoPURA
Co-creation Platform for networking URA

<http://www.ura.uec.ac.jp/copura/>